

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年03月14日

計画の名称	さいたま市における緑の保全と創出												
計画の期間	平成27年度～平成31年度(5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	さいたま市												
計画の目標	都市公園や保存緑地等の身近な緑を保全・創出するとともに、緑のネットワーク形成をすることにより、良好な都市環境・防災機能の向上を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	9,744	A	9,711	B	0	C	33	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0.33	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	都市公園の適正な配置・整備へ向けて、公園の不足する地域において重点的に整備を進め、身近な公園の整備率を84.1%から84.9%とする。 【身近な公園の整備率】配置されている都市公園等の誘致圏と重複するメッシュの数/市内の市街化区域及びDID地区内を縦横125mで区切ったメッシュの数×100	84%	%	85%
2	市街化区域内の緑地における担保性のある緑地の割合を41パーセントから48パーセントに上げ、貴重な緑地の保全を図る。 【担保性のある緑地の割合】さいたま市みどりの条例等に基づき市が指定する緑地面積/介在山林面積×100	41%	%	48%
3	まちなかに緑や開放的な空間が感じられ、快適な生活ができていると感じる市民の割合を、54.7%から59.1%とする。 【市民アンケート】さいたま市総合振興計画(後期基本計画)に係るアンケート調査において、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と答えた市民の割合	55%	%	59%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	さいたま市	直接	さいたま市	—	—	与野中央公園	総合公園 用地取得S= 7,100㎡、施設整備	さいたま市	■	■	■	■	■	3,138		—	
	A12-002	公園	一般	さいたま市	直接	さいたま市	—	—	見沼通船堀公園	総合公園 用地取得S=11,700㎡、施設整備	さいたま市	■	■	■	■	■	2,861		策定済	
	A12-003	公園	一般	さいたま市	直接	さいたま市	—	—	さいたま市緑地環境事業（（仮称）春日部税務署岩槻宿舍跡地公園外7公園）	吸収源対策（用地取得S=9,863㎡、施設整備）	さいたま市	■	■	■	■	■	1,635		—	
	A12-004	公園	一般	さいたま市	直接	さいたま市	—	—	さいたま市古都保存・緑地保全等事業（特別緑地保全地区計画地3箇所）	緑地保全（用地取得S=約10,600㎡）	さいたま市	■	■	■	■	■	1,434		—	
											小計						9,068			
市街地整備事業	A13-005	市街地	一般	さいたま市	直接	さいたま市	—	—	都市再生総合整備事業【総合整備型】（氷川緑道西通線）	氷川緑道西通線（南区間）L=700m	さいたま市	■	■	■	■	■	643		—	



C 効果促進事業																					
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H27	H28	H29	H30	H31					
		一体的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
都市公園・緑地等事業	C12-001	公園	一般	さいたま市	直接	さいたま市	—	—	みどりの街並みづくり助成事業	屋上緑化、壁面緑化、沿道緑化にかかる工事費の補助	さいたま市	■	■	■	■	■	11		—		
			緑地保全等事業と併せて市街地において減少する緑地の保全を図る。																		
	C12-002	公園	一般	さいたま市	直接	さいたま市	—	—	防災都市づくり計画推進事業	安全・安心な都市公園等の整備プログラム	さいたま市	■	■				22		—		
		吸収源対策公園緑地事業と併せて防災機能の向上を図る。																			
											小計						33				
											合計						33				

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

都市局都市計画部都市公園課にて作成

事後評価の実施時期

令和4年3月

公表の方法

さいたま市ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

交付対象事業の効果としては、指標1～3の目標値を上回る結果となり、都市公園の整備推進・特別緑地保全地区の保全推進等により、身近な緑を保全・創出するとともに、良好な都市環境・防災機能の向上に寄与した。  
**【指標1 身近な公園の整備率】**  
 目標値：84.9%、実績値：87.8%  
**【指標2 担保性のある緑地の割合】**  
 目標値：48.0%、実績値：52.0%  
**【指標3 市民アンケート（まちなかに緑や開放的な空間が感じられ、快適な生活ができていると感じる市民の割合）】**  
 目標値：54.7%、実績値：59.1%

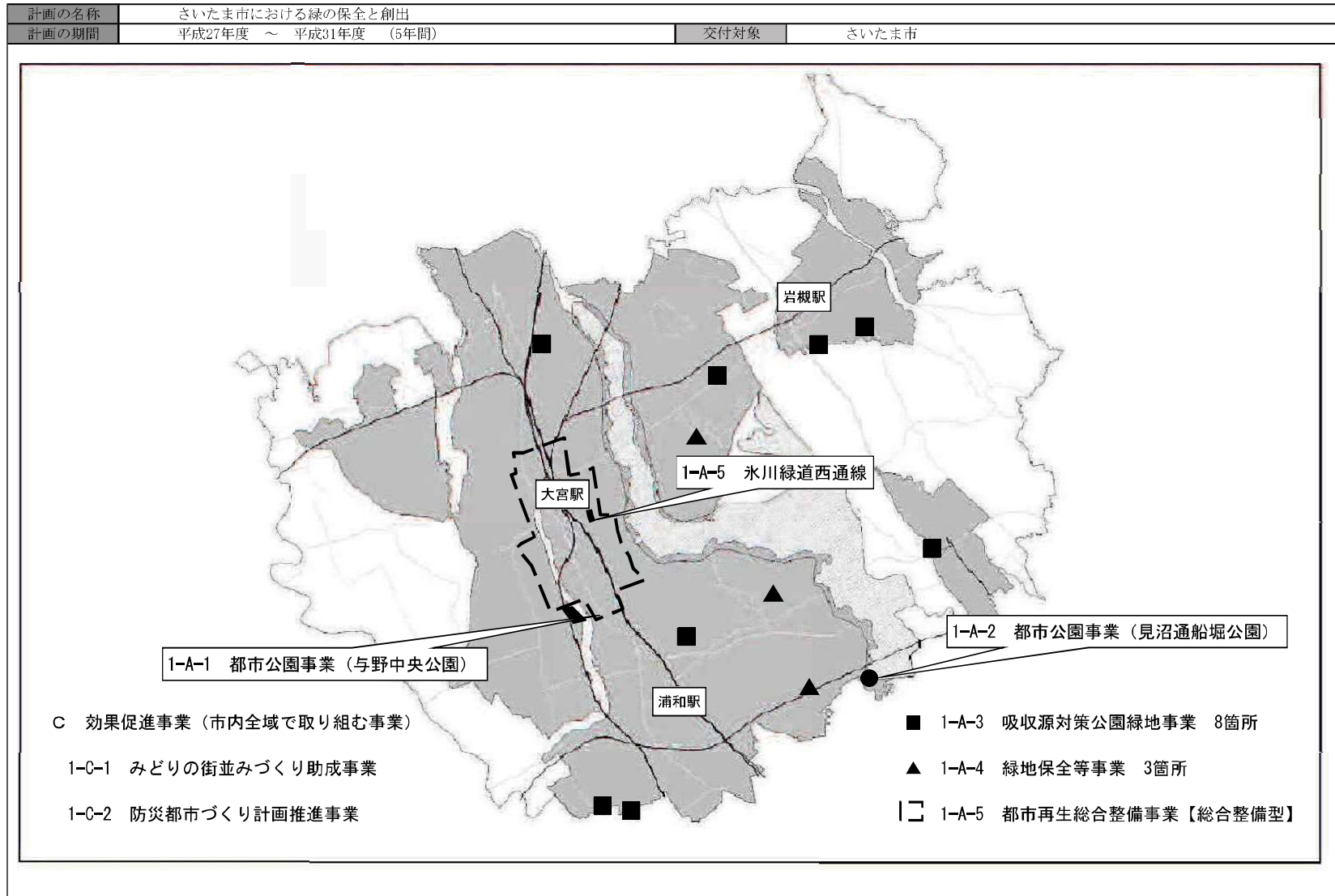
定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

目標値はすべて達成しているものの、身近な公園の空白地域が点在していることから、引き続き、都市公園の整備推進が必要である。また、オープンスペースとしての防災機能や、雨水貯留浸透の機能を持つグリーンインフラとして、公園緑地の整備及び保全を推進していく。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	身近な公園の整備率	
	最終目標値	85%
2	最終実績値	88%
	【実績値87.8%】目標値を達成した。目標値と実績値の差の要因としては、本計画の都市公園の整備推進とともに、市内の土地区画整理事業の進捗等により、上記算定式の重複するメッシュが増加したことが挙げられる。	
3	担保性のある緑地の割合	
	最終目標値	48%
4	最終実績値	52%
	【実績値52.0%】目標値を達成した。目標値と実績値の差の要因としては、介在山林面積、市指定緑地面積がともに減少しているものの、特別緑地保全地区等の保全の推進により、市指定緑地の減少率を抑えられたことで達成できたものと考ええる。	
5	市民アンケート（まちなかに緑や開放的な空間が感じられ、快適な生活ができていると感じる市民の割合）	
	最終目標値	59%
6	最終実績値	59%
	【実績値59.3%】目標値を達成した。目標値と実績値の差の要因としては、本計画の都市公園及び緑地保全等の事業を始めとする本市の取り組みにより、一定の評価が得られたものと考ええる。	
7		
8		

参考図面（社会資本整備総合交付金）



# 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称：さいたま市における緑の保全と創出

都道府県名：さいたま市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
① 上位計画等との整合性	
1) 上位計画等と整合が図られている。 (計画名称：さいたま市総合振興計画等)	○
II. 計画の効果・効率性	
② 目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
③ 事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 整備計画の実現可能性	
④円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 住民等との合意形成により事業実施の確実性がある。	○